

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 京田辺市

プロジェクト名	子ども子育て応援プロジェクト ～子どもたちが健やかに育つ環境を整備する～	実施期間	平成26年度～ 平成28年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は交通の利便性に恵まれていることもあり現在もゆるやかに人口が増加しており、特に南田辺北地区（同志社山手）や山手地区（山手西）では大規模な宅地開発や住宅整備による子育て世代の転入が予想されている。しかし、京都府下全体では合計特殊出生率の低迷が喫緊の課題となっており、これまでの少子化対策から、子どもを生み育てる環境を社会全体での支援していく施策の重要性が増している。</p> <p>京都の未来を担う希望であり、力である子どもたちが健やかに成長できる、適切な保育環境や学習環境を整備ははじめ、いきいきとした京田辺っ子の育成に向けた取り組みへの支援、また子どもたちの生活環境の整備、さらには子育て世代への支援など、積極的な行政の取り組みを実施していく必要がある。</p> <p>また、就学前児童と小学生の3,000人を対象としたニーズ調査においても、子育てで不安や負担を感じ、子育てへのストレスを感じる割合は76.3%と高くなっており、子育てを応援、支援する施策が求められている。地域における子育ての相談窓口として、地域子育て支援センターも併設する三山木保育所の移転新築を行う。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>未来を担う子どもたちが健やかに成長する環境とするため、子どもの増加に応じた快適な環境整備、地域子育て支援センターの充実整備、学校での生活環境の改善（小学校空調設備、トイレの洋式化）、通学路の安全整備、小中学校における英語推進や体力アップ、安全教育、読書推進などのモデル事業を実施する。また、就労支援やリフレッシュを目的とし幼稚園における延長保育を実施し、子育てを応援する。</p>						
	総事業費（千円）	1,200,000	本年度事業費（千円）	964,614	交付金額（千円）	42,122	
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	三山木保育所新園舎備品整備事業	交付対象事業	宅地開発によって保育需要が高まる地区に新たに建設する三山木保育所の備品を整備するもの。また地域における子育ての相談窓口として、地域子育て支援センターを併設するもの。	平成27年3月三山木保育所及び市内3箇所目となる地域子育て支援センターの新規開園に向け保育備品等を整備した。			
	小学校空調設備設置事業	交付対象事業	市内8小学校において、新たに空調を設置し子どもたちの快適な学習環境を整備するもの。	市内すべての小学校における空調整備を完了させ、快適で安全な学習環境を整えた。			
	中学校トイレ洋式化事業	交付対象事業	大住中学校のトイレを洋式化し学校内での環境を改善していくもの。	トイレの様式化を完了させ、生徒アンケートの結果を反映させた快適な環境に改善することができた。			
	通学路安全整備事業	交付対象事業	通学路における安全標識の設置、カラー塗装、排水溝への落下危険箇所への防護柵の設置を行い、通学路の環境を改善するもの。	通学路に安全啓発標識を20箇所追加で設置し、通学路のカラー塗装及び防護柵の設置を行った。			
	校務支援システム導入事業	交付対象事業	小中学校を通じた児童生徒の情報のデータベース化、教職員の情報の共有等のシステムを導入するもの。	小中学校の全児童生徒の基本情報から、成績や注釈事項等をデータベース化した。			
	松井ヶ丘幼稚園預かり保育事業	関連事業	幼稚園での預かり保育（通常時間外の早朝や延長預かり）を松井ヶ丘幼稚園で試験的に実施するもの。	試験的に実施した幼稚園での預かり保育において、年間延べ2,567人の利用があった。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 京田辺市

住民協働事業	子ども・学校応援プロジェクト	交付対象事業	英語教育推進、体力アップ、安全教育、読書大好き子育て等、各小中学校のモデル事業の実施に対し補助を行うもの。	すべての小中学校を「英語教育」「学力アップ」「体力アップ」などの研究実践モデル校に指定し、特色ある学校づくりを推進した。	
	わがまちの食を伝え広げる事業	交付対象事業	京都府内で作られた食材を使用した給食により、地域とのつながりや食育を学ぶ事業に対し、補助を行うもの。	7月と12月に全小学校（9校）で、学校給食において使用する食材（牛乳を除く）を全て京都府産とする「まるごときょうとの日」を実施した。	
成果指標①	成果指標の目標数値	幼稚園就労サポート型預かり保育利用者延べ人数	1,500人	成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	2,567人 (平成26年度末時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を大きく上回る実績であったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	保育所待機児童数（年度当初）	0人維持	成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	0人維持 (平成27年当初時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標とおり0人を維持できたため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・三山木保育所の移転新築により保育定員が140名から200名へ増員され、保育所待機児童数0人維持を達成することができた。 ・幼稚園における朝・夕の預かり保育を実施することで、保護者が就労を行っている場合でも幼稚園を選択することができ、保育所待機児童0人維持に寄与することができた。 ・移転新築を行った三山木保育所内に、市内2箇所目となる一時預かり保育室を新たに設置し、保護者がパートや病気などで一時的に保育が必要となる就学前児童を一時的に保育し、子育て世帯への支援を充実させた。 				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 京田辺市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・試験的に実施した松井ヶ丘幼稚園での預かり保育により、保護者の就労支援やリフレッシュ等子育て世帯を応援し、次年度以降の事業展開に寄与した。
	住民の自治意識を高める成果	・子どもたちが安全に通学できるよう通学路のカラー塗装を行い、運転者への注意を促す効果があった。さらに学校安全ボランティアや保護者も一体となった通学路の安全確保により、地域で子どもを見守る意識の向上につながった。
	広域的波及成果	・すべての小中学校を「英語教育」「学力アップ」「体力アップ」などの研究実践モデル校に指定し、特色ある学校づくりを推進した。さらに教員約250人が各校の取り組み成果と課題について交流を行い、快適な学習環境の提供と教育プログラムの改善に取り組んだ。
	行財政改革に資する成果	・校務支援システムの導入により、今まで紙ベースや各教諭ごとに異なるフォーマットで管理されていた各児童生徒の情報を、同じシステムで管理運用し引継ぎや共有が効率的効果的に行われるようになった。
	その他の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が働いていても幼稚園を選ぶことができるよう幼稚園での預かり保育を試験的に実施し、子育て支援を充実させた。 ・移転新築を行った三山木保育所内に市内3箇所目となる子育て支援センターを開設し、子育て中の親子の交流ひろばとして、また子育て相談窓口として、子育て支援サービスの充実を図った。 ・英語や読書など教育の重点課題に取り組むモデル校として全ての小・中学校を指定し、いきいきとした京田辺っ子の育成に向けた取り組みへの支援を実施した。